

知れば知るほど、おもしろい!!

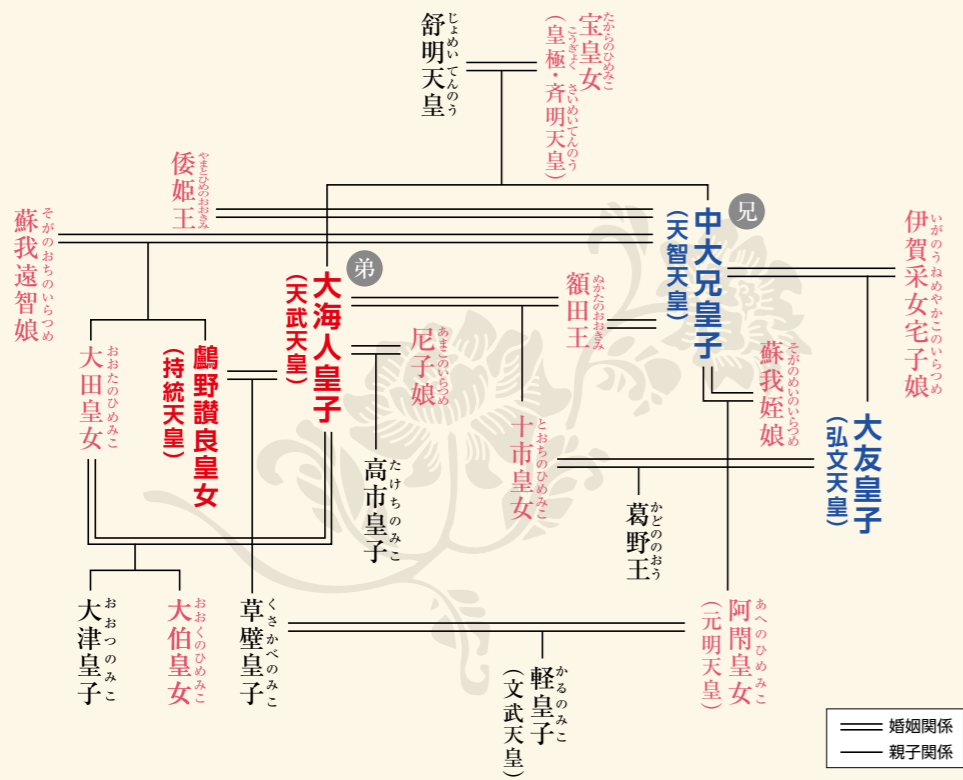
壬申の乱



次期天皇の座を争った「壬申の乱」一。

1350年前の飛鳥時代に起こった、古代日本の歴史の中でも最も大きな戦いです。名前は聞いたことはあっても詳しく知らない、なんでそんな戦争が起こったの？ そんなあなたを「壬申の乱」の世界に招待します。

「壬申の乱」を 彩る登場人物



当時のルールでは、天皇に同じ母から生まれた弟がいる場合は、次の天皇はその弟であるとされていた。ところが、天智天皇は中国式に自分の子どもである大友皇子を後継者にしようとしたため、天智天皇の没後、皇位を巡って争うことになった。

大海人皇子軍

大友皇子軍



おおあまのみこ
大海人皇子
てんむてんのう
(天武天皇)

?~686年。舒明天皇と皇極(斉明)天皇の子。「白村江の戦い」での敗北や皇位継承問題で兄・中大兄皇子(天智天皇)との溝が深まり、自ら出家することを願ひ出て、吉野へ下る。天智の死後、天智の子・大友皇子が率いる大友軍(近江朝廷軍)と一触即発となり、「壬申の乱」が起こる。



うののさららのひめのみこ
鸕野讃良皇女
じとうてんのう
(持統天皇)

645~702年。天智天皇の娘。13歳で大海人皇子の后となり、壬申の乱を経て大海人皇子が即位(天武天皇)すると、その皇后に立てられた。天武天皇の死後、持統天皇として即位した。



おおとものみこ
大友皇子
こうふんてんのう
(弘文天皇)

646~672年。天智天皇の後継者として近江大津宮を中心に統治したが、壬申の乱で叔父である大海人皇子に敗れ、山前の地で首を吊って自害する。25歳の若さでその生涯を閉じる。



なかつらのおおえのみこ
中大兄皇子
てんちてんのう
(天智天皇)

626~671年。舒明天皇と皇極(斉明)天皇の子で、大海人皇子の兄。中臣鎌足とともに大化改新を成し遂げるが、白村江の戦いでの失政などもあり、豪族の反感を買った。自身の後継者を弟の大海人皇子から長男の大友皇子に変えたことで、壬申の乱勃発のきっかけを生んだ。

親族	たけちのみこ 高市皇子	くさかべのみこ 草壁皇子	おおつのみこ 大津皇子	おさだのみこ 忍壁皇子
討伐軍など	むらくにのむらじおより 村国連男依 おおとものおらじふけい 大伴連吹負 くらかきのあたねまる 倉嶋直麻呂 さみのきみすくねまる 佐味君少麻呂 みわのきみたちちまる 三輪君高市麻呂 はらのあきとく 秦造熊	ふみのねまる 文祿麻呂 さかちのあみたら 坂本臣財 たみのあたねまる 民直小餉 かちのきみあかし 鴨君蝦夷 おわりのむらじおすみ 尾張連大隅	おおさだのきみわかみ 大分君稚臣 ながのあたねまる 長尾直真曇 たにのあたねまる 谷直根麻呂 おさきのおらじふけい 置始連兎 さかのうえのあたねまる 坂上直熊毛	

重臣	そがのおおあかえ 蘇我臣赤兄 こせのおおひと 巨勢臣人	おさののむらじふけい 中臣連金 きのおおらし 紀臣大人	そがのおおはたやす 蘇我臣果安
討伐軍など	おおののきみはたやす 大野君果安 いらいのむらじふけい 厩井造鯨	いさのふみひとからくに 吉岐史韩国	いぬかいのむらじふけい 犬養連五十君

Q1 「壬申の乱」って
そもそも何？

A1 天智天皇の次の天皇を、天智の弟の大海人皇子と天智の子・大友皇子が争った戦いです。
叔父と甥が奈良だけではなく近畿を舞台に激戦を繰り広げました。

Q2 いつ頃のできごと
ですか？

A2 聖徳太子が亡くなって50年後、奈良時代より前の飛鳥時代のできごとです。672年の夏に起こりました。この年の干支が壬申だったことから、「壬申の乱」と呼ばれています。

Q3 どのような書物に書かれているの？

A3 『日本書紀』に記されています。『日本書紀』は720年に完成した全30巻の歴史書です。そのうち巻28に「壬申の乱」について詳しく書かれています。巻28は「壬申紀」とも呼ばれ、「壬申の乱」の経緯が記されています。大海人皇子が皇位継承者となったところからはじまり、巻29で戦に勝利した大海人皇子が即位し、天武天皇となり、新しい国づくりに取り組んださまざまな功績が記されています。

Q4 なぜ叔父さんと甥っ
こが、戦わなければ
ならなかったの？

A4 戦いが起こった原因は諸説ありますが、最も大きな原因は天智天皇にあるといわれています。元々、天智天皇は大海人皇子を皇位継承者としていましたが、死期が近づくと、自身の子どもである大友皇子に皇位を譲ろうとします。これが戦争のひきがねとなりました。

Q5 『日本書紀』って
… 難しそう。

A5 奈良県制作の『名所図絵〜壬申の乱編〜』では、『日本書紀』を現代語に訳し、あらすじをわかりやすく解説しています。また、壬申の乱のゆかりの地も紹介していますので、本書をもとに現地を訪れ、体感してください。

引用：『名所図会〜壬申の乱編〜』（奈良県制作）
※『名所図絵〜壬申の乱編〜』は、なら記紀・万葉ホームページから電子版を閲覧可能です。
トップページ>記紀・万葉に親しむ>なら記紀・万葉 名所図会>なら記紀・万葉 名所図会〜壬申の乱編〜